中学地理プリント（基礎確認）
日本の資源と産業 No.9

名前

得点 ／16

1回目　2回目

1. 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？
   ① ブレトンウッズ協定　② スミソニアン協定　③ ルーブル合意　④ プラザ合意

2. 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？
   ① 風力発電　② 水力発電　③ 地熱発電　④ 太陽光発電

3. 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？
   ① コンバイン　② トラクター　③ ビニールハウス　④ スプリンクラー

4. 日本の海面養殖業で盛んに生産されており、食卓でも身近な海藻類を何という？
   ① のり　② カキ　③ ブリ　④ マダイ

5. 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？
   ① 抑制栽培　② 促成栽培　③ 企業的農業　④ 近郊農業

6. 製品の素材を加工して部品を作り、それを組み立てて製品を完成させるタイプの工業を何という？
   ① 素材型　② エネルギー型　③ 加工組立型　④ 資源型

7. 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？
   ① 中央高地　② 太平洋ベルト　③ 北九州工業地帯　④ 日本海側

8. 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？
   ① 企業城下町　② 港湾都市　③ 学園都市　④ 門前町

9. 高原などの冷涼な気候を利用して、平地の出荷が終わった時期に野菜を出荷する栽培方法を何という？
   ① 近郊農業　② 抑制栽培　③ 促成栽培　④ 施設園芸農業

10. 長野県に位置し、夏に涼しい気候を生かしたレタスなどの生産が盛んな高原地帯はどこ？
    ① 濃尾平野　② 宮崎平野　③ 野辺山高原　④ 高知平野

11. 福岡県に建設され、石炭資源を利用して日本の重化学工業の発展の起点となった製鉄所を何という？
    ① 富士製鉄所　② 川崎製鉄所　③ 釜石製鉄所　④ 八幡製鉄所

12. 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？
    ① 地熱発電　② 風力発電　③ 太陽光発電　④ バイオマス発電

13. 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？
    ① 日本海側　② 中央高地　③ 瀬戸内側　④ 太平洋側

14. 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？
    ① 愛知県　② 神奈川県　③ 福岡県　④ 兵庫県

15. 日本の栽培漁業において、沿岸部で盛んに増殖が行われている代表的な高級魚を何という？
    ① サンマ　② カツオ　③ マダイ　④ スルメイカ

16. 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？
    ① 先端技術産業　② 繊維工業　③ 鉄鋼業　④ 食品工業

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「日本の資源と産業」のプリント一覧がひらきます